

冬の高速道路は油断大敵!

～スリップ事故にご用心!～



安全運転のポイント

- 1 発進は「ゆっくり、慎重に!」
- 2 走行中の「加速・減速はゆっくり、ゆるやかに!」
- 3 ブレーキの操作は「早めに・ソフトに!」

路面状況別の「滑りやすさ」(摩擦係数)

冬道での制動距離(ブレーキ距離)は乾燥路の3~10倍以上の危険性があります。

摩擦係数	路面状況	危険性(乾燥路相対)
0.7-0.9	乾燥路	1.0倍
0.2-0.4	圧雪路	3.2倍
0.1-0.2	凍結路	5.4倍
0.1未満	つるつる凍結路	8.0倍

注1 摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほど滑りやすいことを意味している。

注2 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会ホームページ掲載データより。

雪道の注意ポイント

前方の交通状況に目配り

追突事故の主な原因は前車に漫然と追従していて、その減速・停止に気づくのが遅れたというもの。前車の動向に注意を

吹雪・地吹雪による視界不良

吹雪や地吹雪により突然視界が失われることがあります。ライトを点灯し、自車の存在を知らせましょう。

坂 道

下り坂は止まりにくいので、事前に十分な減速を。上り坂では発進時のアクセル操作を慎重に

クルマに積もった雪は取り除いてから出発

走行中にフロントガラスに落ちたり、後続車にぶつかる可能性があります。必ず運転前に取り除きましょう。

カーブでは十分な減速を

カーブでは遠心力で横滑りが生じやすいため、急ハンドル・急ブレーキは厳禁!!

トンネルの出入り口

凍結しやすいばかりか、眼の明暗順応で先の状況が見えにくいため、路面状況の変化予測が必要

